

# IQVIA ラボラトリーズ “How To” ガイド

検体発送手順 – 日本版

2026 年 1 月, バージョン 01



---

## 目次

<b>IQVIA ラボラトリーズ 休業スケジュール .....</b>	<b>2</b>
検体の発送が必要となる被験者ビジットが休業日に予定されている場合 .....	2
<b>輸出入要件 – 日本 .....</b>	<b>3</b>
輸入要件 .....	3
輸出要件 .....	3
<b>標準およびプレミアム輸送サービス .....</b>	<b>4</b>
標準輸送業者 .....	4
プレミアムサービス (Marken) .....	5
<b>発送ガイダンス .....</b>	<b>6</b>
IATA 要件 (施設で検体の梱包をおこなう場合に適用されます) .....	6
コマーシャルインボイス / カスタムインボイス要件 (国内発送には適用されません) .....	6
常温および冷蔵検体 .....	6
ゲルパックの使用方法 (試験で使用している場合にのみ該当) .....	6
凍結検体 .....	7
常温検体の梱包手順 – FedEx (TNT) .....	8
冷蔵検体の梱包手順 – FedEx (TNT) .....	10
凍結検体の梱包手順 – FedEx (TNT) .....	13
常温検体の梱包手順 – Marken .....	15
冷蔵検体の梱包手順 – Marken .....	17
凍結検体の梱包手順 – Marken .....	19
<b>航空貨物運送状 (AWB) の記入例 .....</b>	<b>22</b>
FedEx (TNT) 常温 .....	22
FedEx (TNT) 凍結検体 .....	23
Marken 常温 / 凍結検体 (詳細は Marken スターターパックに記載されています) .....	25
Marken 常温 / 凍結検体のプロフォーマインボイス (国内発送には適用されません) .....	26
<b>改訂ログ .....</b>	<b>27</b>

---

## IQVIA ラボラトリーズ 休業スケジュール

IQVIA ラボラトリーズでは、輸送業者が「配送不可」の日程および弊社の営業日につきまして、祝日に先立って詳細情報を提供しています。情報はポータルでご確認いただけます。

施設では、休業日に関するメモおよび被験者ビジットの予定を確認し、検体の発送が必要となる被験者ビジットについて、代替計画を立てることが推奨されます。

### 検体の発送が必要となる被験者ビジットが休業日に予定されている場合

- IQVIA ラボラトリーズから提供される FedEx (TNT) または Marken の検体集荷スケジュールを確認し、すべての部門(検体受領部および検査部設)が休業するのか、または最小限の人員で稼働されるのかを確認をお願いします。
- 休業日以外にビジットを変更できない場合は、治験依頼者や CRA と協議します。
- FedEx (TNT) または Marken に事前に確認し、該当の日に集荷および配送が可能かどうかを判断します。
- CRA または弊社プロジェクトマネージャーと協議し、代替の集荷予定を立てます。

祝日の集荷には追加料金ならびに割増料金が適用される場合があります、費用は試験に請求されます。

地域の休日または国際的な祝日の前に配送が可能かどうかを確認するために、FedEx (TNT)、Marken、または弊社プロジェクトマネジメントチームまでご連絡ください。

さらに、ラボや国ごとに特定の「集荷不可日」が設定されている場合があります。検体採取に先立って、集荷不可日のスケジュールについて弊社プロジェクトマネジメントチームに確認してください。

---

## 輸出入要件 – 日本

### 輸入要件

日本で検査キットを国内に輸入するためには、輸入許可書が必要となります。輸入許可書は、治験依頼者または治験依頼者の代理として業務を行う第三者が取得責任を負います。許可書を申請する個人または企業は、許可書が必要な国に所在している必要があります。許可書取得までの一般的な期間は2～4週間となります。弊社では、試験期間全体に必要な検査キットの内容を詳細に記載したパッキングリストおよび商業インボイスを提供し、取得を支援します。

### 輸出要件

診断用検体を日本から IQVIA ラボラトリーズへ輸出には輸出許可が必要です。IQVIA ラボラトリーズは、検体の種類や推定輸出量に関する情報を提供することで支援します。

---

## 標準およびプレミアム輸送サービス

標準の輸送業者は最も一般的に利用されており、施設と IQVIA ラボラトリーズ間の検体輸送の大部分を担当しています。

試験の必要性に応じて、治験依頼者が IQVIA ラボラトリーズに依頼し、施設で利用する輸送業者に Marken のプレミアムサービスを利用できるよう設定する場合があります。プレミアムサービスにおける集荷予約および集荷のプロセスは、標準の輸送業者とは異なりますのでご注意ください。

弊社プロジェクトマネジメントチームは、ポータル、CRA、または治験依頼者を通じて該当の輸送業者に関する情報を含めたドキュメント (スターターパック) を施設へ提供します。

### 標準輸送業者

日本における標準の輸送業者は FedEx (TNT) です。

IQVIA ラボラトリーズのプロジェクトマネジメントチームは、ポータル、CRA、または治験依頼者を通じて該当の輸送業者に関する情報を含めたドキュメント (スターターパック) を施設へ提供します。

**常温および冷蔵発送:** FedEx (TNT) を利用して常温および冷蔵で検体を発送する際に必要なすべての資材は、FedEx (TNT) が施設へ提供します。航空貨物運送状 (Air Waybill [AWB]) が必要な場合は FedEx (TNT) に再注文してください。

常温発送用ボックスは、集荷当日に FedEx (TNT) が持参します。冷蔵発送用ボックスは、集荷日より前に施設へ送るか、または集荷当日に持参します。冷蔵検体についての集荷依頼の締切は、常温検体や凍結検体の締切と異なりますのでご注意ください。冷蔵検体の集荷依頼は、集荷の 2 営業日前の 12 時が締切となります。

**凍結検体:** FedEx (TNT) を利用して凍結検体を発送する際に必要なすべての資材は、集荷当日に FedEx (TNT) が持参します。

輸送業者に常温、冷蔵、または凍結検体の集荷を依頼する際は、発送に使用する事前印字済みの AWB 番号をご用意ください。

### FedEx (TNT) 集荷依頼手順

集荷を依頼するには、IQVIA ラボラトリーズのプロジェクトマネジメントチームが提供する輸送業者の集荷依頼に関する情報 (スターターパック) をご確認ください。

最終集荷依頼時間および最終集荷時間を確認することが重要です。情報は輸送業者の検体集荷依頼フォームに記載されています。

## 集荷当日

- **凍結検体のみ:** 輸送業者がドライアイスの入ったボックスを持参します。発送の手順については「[発送ガイド](#)」をご確認ください。
- **全ての発送方法:** 「[発送ガイド](#)」で必要な手順をご確認ください。

## プレミアムサービス (Marken)

Marken プレミアムサービスを使用するよう設定された施設には、IQVIA ラボラトリーズのプロジェクトマネジメントチームが Marken スターターパックを提供します。このスターターパックはポータル、CRA、または治験依頼者を通じて施設へ提供され、集荷依頼フォーム、および輸送時間や集荷依頼の締切時間の情報などが含まれています。なお、施設の担当 CRA も、Marken よりスターターパックのコピーが電子メールで直接提供されることがあります。

すべての梱包資材および書類 (航空貨物運送状、コマーシャルインボイスなど) は Marken より提供されるため、IQVIA ラボラトリーズにご注文いただく必要はありません。ただし、**一般的な梱包手順**につきましては、本発送ガイドの「[発送ガイド](#)」でご確認いただけます。

## Marken 集荷依頼手順

スターターパックに含まれている回収依頼フォームを使用して、Marken のカスタマーサービスに集荷を依頼します。**連絡先情報は回収依頼フォームに記載されています。**

Marken は、集荷依頼の受領をメールまたは FAX で施設にお知らせし、自社システム内で予約を処理します。その後、参照番号が発行され、施設にも共有されますので、確認にご利用ください。

## 集荷当日

Marken の担当者が、依頼された検体集荷日時に施設へ伺います。

担当者は梱包用の資材、および必要に応じてドライアイスを持参します。また、施設で使用する航空貨物運送状も併せて持参します。

- **注:** 当日集荷の依頼については、担当者が航空貨物運送状を所持していないことがあります。その場合は、現地の Marken 施設に荷物が到着した際に運送状を貼付します。

Marken の担当者は、検体の梱包時にカスタムズインボイスを荷物に同封します。

また、必要な輸送時間内に送り先の国へ到着するよう、Marken で輸出準備をします。

---

## 発送ガイドンス

IQVIA ラボラトリーズのプロジェクトマネジメントチームは、試験で使用する輸送業者の集荷予約および連絡先の情報を提供します。これらの情報は、ポータル内の「Document Center」内で確認でき、さらに**試験特有の**検体採取、処理、および発送に関する**追加資料**も掲載されています。

### IATA 要件 (施設で検体の梱包をおこなう場合に適用されます)

IATA(国際航空運送協会)の危険物規則に準拠するため、発送者である施設は、IATA 危険物規則の要件に従って、貨物の梱包、マーキング、ラベル貼付、および航空貨物運送状(AWB)への申告を行う責任があることにご注意ください。輸送業者は、施設担当者の立ち会いのもとで梱包した貨物および発送書類を確認し、誤りがあった場合には、必要な修正を行うよう案内します。

**重要:** IATA のラベルがいかなる形でも覆われていないようにすることが重要です。航空貨物運送状やインボイスを荷物に貼り付ける際には注意してください。IATA のマーキングが一部でも覆われている場合、貨物が拒否される可能性があります。

### コマーシャルインボイス/カスタムインボイス要件 (国内発送には適用されません)

発送にコマーシャルインボイスやカスタムズインボイスが必要な場合は、提供された印字済みインボイスを確認のうえ署名してください。輸送業者はインボイスのコピーを書類用ポーチ入れて、箱に貼り付けます。担当者にコピー1部を渡し、もう1部は施設で保管してください。

検体の発送についてご不明な点等ありましたら、スターターパックまたは検体集荷依頼フォームに記載されている情報より輸送業者にご連絡ください。

## 常温および冷蔵検体

### ゲルパックの使用方法 (試験で使用している場合にのみ該当)

注: 試験で追加のゲルパックが必要な場合は、ポータルよりご注文いただけます。

#### 常温発送用のゲルパック

ゲルパックは、現地の外気温によって冷蔵または室温で使用する必要があります。

ごとに気温や季節の変動が異なるため、ゲルパックの使用方法については以下のガイドラインをご参照ください。

注: 輸送業者によってゲルパックの使用方法が異なる場合がありますので、輸送業者のスターターパックまたは検体採取の手順を確認してください。

外気温が 25℃ (77°F) 以上の場合	外気温が 25℃ (77°F) 未満の場合
<p>ゲルパックを<u>冷蔵</u>します。</p> <p>注: ゲルパックの使用前に <u>24 時間冷蔵</u>してください。</p>	<p>ゲルパックは<u>室温で保管</u>したものを使用してください (冷蔵しないでください)。</p>

### 冷蔵発送用のゲルパック

冷蔵検体の発送には、冷却および凍結された両方のゲルパックを使用するため、ゲルパックの一部は冷蔵庫と冷凍庫の両方に保管してください。

注: ゲルパックを保護カバーから分離する必要はありません。

### 凍結ゲルパックの準備

- ゲルパックを-20℃に設定された冷凍庫に入れます。
- 使用前に 72 時間冷凍庫でゲルパックを凍結します。  
注: この手順から逸脱すると、ゲルパックの断熱性能が変化する可能性があります。
- 使用前に、ゲルパックを室温で最低 30 分放置します。

### 冷蔵ゲルパックの準備:

- ゲルパックを 2℃～8℃に設定された冷蔵庫に入れます。
- 使用前に 72 時間冷蔵庫でゲルパックを冷蔵します。  
注: この手順から逸脱すると、ゲルパックの断熱性能が変化する可能性があります。

### 凍結検体

注: 輸送業者によってゲルパックの使用方法が異なる場合がありますので、輸送業者のスターターパックまたは検体採取の手順を確認してください。



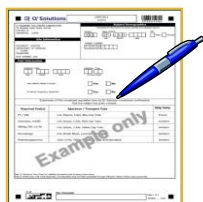
## 常温検体の梱包手順 – FedEx (TNT):

ステップ 1) ~ 4) および 12): の実施者: 施設

- 1) 適切な試験のキットを選択します。

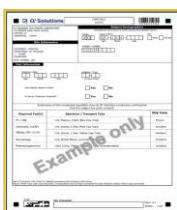


- 2) 依頼書に必要事項をすべて記入します。



- 3) 検体の採取および遠心分離を行った後、適切な移送管に移します (該当する場合)。

- 4) 常温検体と検査依頼書を、検体の適切な温度帯を示して FedEx (TNT) に渡します。



ステップ 5) ~ 11) および 13) の実施者: FedEx (TNT)

- 5) 渡された検査依頼書と FedEx (TNT) 運送状に記載されたプロトコール名が、EOF (電子メール集荷依頼票) と一致していることを確認します。



- 6) 検査依頼書の枚数と検体の本数を数え、数量を FedEx (TNT) 運送状に記入します。

- 7) 検査依頼書に記載のアクセッション番号と被験者番号が検体ラベルのものと一致しているかを確認し、検体を吸収性チューブホルダーに収納します。



- 8) チューブホルダーを検体発送用バッグ (SSB) に入れ、封をします。検査依頼書と FedEx (TNT) 運送状を SSB の裏ポケットに入れます。



- 9) SSB を、底と蓋の裏側に蓄冷剤 / 蓄熱剤を設置した常温検体集荷ボックスに収納します。

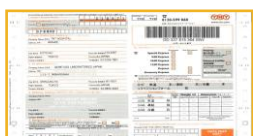


- 10) 検査依頼書と検体の数量が、EOF に記載の数量と一致するか確認します。相違がある場合は、施設担当者に確認します。



- 11) 記入漏れがないことを確認し、日時を記入して署名したのち、施設担当者に署名を依頼します。

- 12) 施設は提出した検体本数と FedEx (TNT) 運送状に記載された本数が一致していることを確認し、署名し、控えを受け取ります。



13) 輸送: 指定された拠点で輸送用ボックスに詰め替え、IQVIA ラボラトリーズへ配送します。一部の地域では、検体は輸送用ボックスで集荷されることもあります。



### 冷蔵検体の梱包手順 – FedEx (TNT):

ステップ 1) ~ 4) および 12) の実施者: 施設

1) 適切な試験のキットを選択します。



2) 検査依頼書に必要事項をすべて記入します。

3) 検体の採取および遠心分離を行った後、適切な移送管に移します (該当する場合)。

4) 冷蔵検体 と検査依頼書を、検体の適切な温度帯を示して FedEx (TNT) に渡します。



注: 冷蔵検体の集荷依頼の締切りは、常温検体や凍結検体の締切りとは異なります。集荷依頼の締切りは集荷日の 2 営業日前の 12:00 までです。冷蔵検体の発送用ボックスは、集荷までに FedEx (TNT) から施設へ送付、または集荷日に持参します。

## ステップ 5) ~ 11) および 13) の実施者: FedEx (TNT)

- 5) 渡された検査依頼書と FedEx (TNT) 運送状に記載されたプロトコール名が、EOF (電子メール集荷依頼票) と一致していることを確認します。



- 6) 検査依頼書の枚数と検体の本数を数え、数量を FedEx (TNT) 運送状に記入します。
- 7) 検査依頼書に記載のアクセッション番号と被験者番号が検体ラベルのものと一致しているかを確認し、検体を吸収材付きのチューブホルダーに収納します



- 8) チューブホルダーを検体発送用バッグ (SSB) に入れ、封をします。検査依頼書を SSB の裏ポケットに入れます。冷蔵は TNT 送り状を収納しません。



- 9) SSB と検査依頼書の入ったバブルラップを、検体発送用ボックスに入れます。このボックスには 1 症例の検体のみを入れます。



10) 中箱と保冷剤を冷蔵発送用ボックスに入れ、コンテンツリストを発泡スチロールの蓋の上に置きます



11) 記入漏れがないことを確認し、日時を記入して署名したのち、施設担当者に署名を依頼します。

12) 施設は提出した検体本数と FedEx (TNT) 運送状に記載された本数が一致していることを確認し、署名し、控えを受け取ります。



13) 発送用ボックスの蓋を閉め、FedEx (TNT) 運送状をビニールポケットに収納して貼付します。ボックスに油性マジックで FedEx (TNT) 運送状番号を記入します。



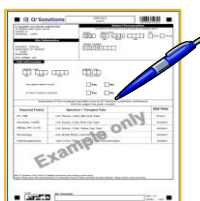
## 凍結検体の梱包手順 – FedEx (TNT):

ステップ 1) ~ 4) および 12) の実施者: 施設

- 1) 適切な試験のキットを選択します。



- 2) 検査依頼書に必要事項をすべて記入します。



- 3) 検体の採取および遠心分離を行った後、適切な移送管に移します (該当する場合)。

- 4) 凍結検体と検査依頼書 (該当する場合) を、検体の適切な温度帯を示して FedEx (TNT) に渡します。



ステップ 5) ~ 11) および 13) の実施者: FedEx (TNT)

- 5) 渡された検査依頼書と FedEx (TNT) 運送状に記載されたプロトコール名が、EOF (電子メール集荷依頼票) と一致していることを確認します



- 6) 検査依頼書の枚数と検体の本数を数え、数量を FedEx (TNT) 運送状に記入します。

- 7) 凍結検体と併せて検査依頼書が提出された場合は、検査依頼書はバブルラップに収納します。検体と検査依頼書 (提出された場合) を、吸収材シート入りの SSB に収納します。



- 8) SSB の裏ポケットに FedEx (TNT) 運送状を収納します。



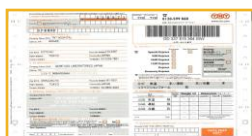
- 9) SSB を凍結用ボックスに入れ、その上に 3.5kg のドライアイスを入れてください。



- 10) 検査依頼書 (提出された場合) と検体の数量が、EOF に記載の数量と一致するか確認します。相違がある場合は、施設担当者に確認します。



- 11) 記入漏れがないことを確認し、日時を記入して署名したのち、施設担当者に署名を依頼します。

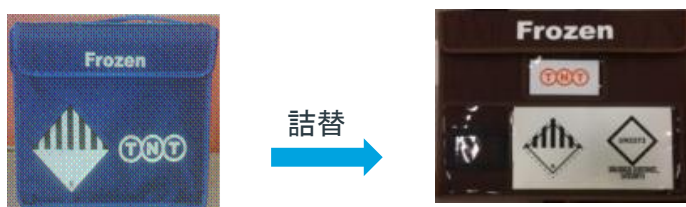




12) 施設は、FedEx (TNT) に提出した検査依頼書の枚数(提出された場合)と検体の数量が、FedEx (TNT) 運送状に記載された本数と一致していることを確認し、運送状に署名し、控えを受け取ります。



13) 輸送: 指定された拠点で輸送用ボックスに詰め替え、IQVIA ラボラトリーズへ配送します。一部の地域では、検体は輸送用ボックスで集荷されることもあります。



### 常温検体の梱包手順 – Marken:

ステップ 1) ~ 5)、8) および 10) の実施者: 施設

1) 適切な試験のキットを選択します。



2) 検査依頼書に必要事項をすべて記入します。

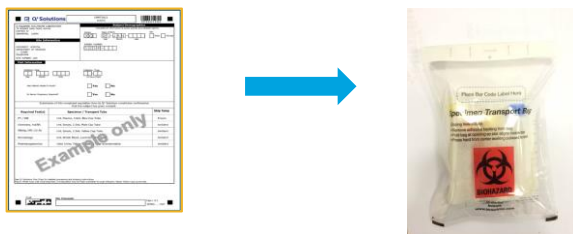


3) 検体を採取して遠心分離した後、適切な移送管に移します(該当する場合)。検体を吸水性チューブホルダーに収納します。





- 4) 必要事項を記入した検査依頼書のコピーをバイオハザードバッグの後ろのポケットに入れます。バイオハザードバッグは封をしないでください。チューブホルダーに収納された管の数を Marken が確認します。



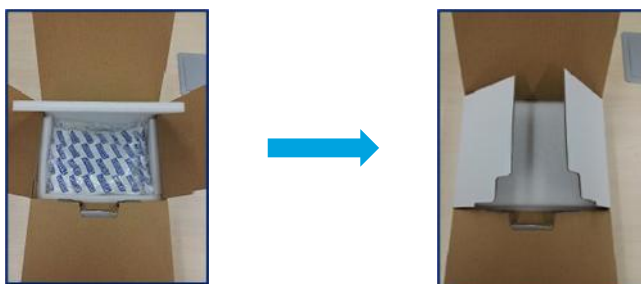
- 5) Marken が管の本数を確認した後、施設担当者はチューブホルダーをバイオハザードバッグに収納し、封をしてから Marken に渡します。

#### ステップ 6)、7)、および 9) の実施者: Marken

- 6) 検体の入ったバイオハザードバッグをゲルパックで挟み込むようにします。



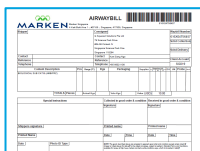
- 7) ゲルパックに挟まれたバイオハザードバッグをバブルラップ (袋) にまとめて收容し、Marken 発送用ボックスに収納します。航空貨物運送状は集荷当日に Marken が持参します。



- 8) Marken が発送用ボックスの蓋を閉じ封をします。



- 9) 施設担当者は航空貨物運送状に日付を記入・署名、航空貨物運送状を Marken に渡します。Marken 署名済みの航空貨物運送状のコピーを受け取り、施設で保管します。



- 10) Marken は署名済みの航空貨物運送状を輸送用ボックスに貼付します。

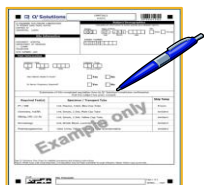
### 冷蔵検体の梱包手順 – Marken:

ステップ 1) ~ 5)、8) および 10) の実施者: 施設

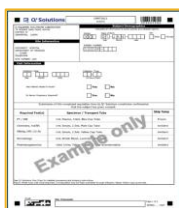
- 1) 適切な試験のキットを選択します。



- 2) 検査依頼書に必要事項をすべて記入します。



- 3) 検体を採取して遠心分離した後、適切な移送管に移します (該当する場合)。検体を吸水性チューブホルダーに収納します。検査依頼書に記載されているアクセション番号が、検体ラベルに記載されたものと一致しているかを確認します。



- 4) 必要事項を記入した検査依頼書のコピーをバイオハザードバッグの後ろのポケットに入れます。バイオハザードバッグは封をしないでください。チューブホルダーに収納された管の数を Marken が確認します。



- 5) Marken が管の本数を確認した後、施設担当者はチューブホルダーをバイオハザードバッグに収納し、封をしてから Marken に渡します。

ステップ 6)、7)、および 9) の実施者: Marken

- 6) 輸送用ボックスの準備



- 7) 発送用ボックスの中にゲルパックと仕切りを入れます。検体の総本数を数えます(施設は手順 5 を参照)。袋を閉じて下図の赤い点線上に置きます。その上に仕切りを置いて、残りのゲルパックを置きます。航空貨物運送状は集荷当日に Marken が持参します。



- 8) 施設担当者は航空貨物運送状に日付を記入・署名、航空貨物運送状を Marken に渡します。



- 9) 内蓋を閉じて梱包を完了し、航空貨物運送状に署名します。その後、航空貨物運送状のコピーを Marken が施設担当者へ渡し、署名された航空貨物運送状を発送用ボックスに貼付します。



- 10) 署名済み航空貨物運送状のコピーを施設で保管します。



### 凍結検体の梱包手順 – Marken:

ステップ 1) ~ 5)、8) および 10) の実施者: 施設

- 1) 適切な試験のキットを選択します。



- 2) 検査依頼書に必要事項をすべて記入します。



- 3) 検体を採取して遠心分離した後、適切な移送管に移します (該当する場合)。移送管を吸水性チューブホルダーまたはクライオボックスに収納します (提供されている場合)。



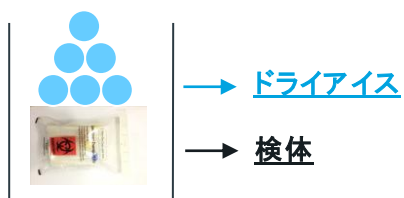
- 4) 必要事項を記入した検査依頼書のコピーをバイオハザードバッグの後ろのポケットに入れます。バイオハザードバッグは封をしないでください。チューブホルダーまたはクライオボックスに収納された管の数を Marken が確認します。



- 5) Marken が管の本数を確認した後、施設担当者はチューブホルダーまたはクライオボックスをバイオハザードバッグに収納し、封をしてから Marken に渡します。

#### ステップ 6)、7)、および 9) の実施者: Marken

- 6) バイオハザードバッグ とドライアイス (6 kg) を発送用ボックスの底に入れます。一括輸送する場合は、複数のバイオハザードバッグ またはクライオボックス (提供されている場合) を 1 つの発送用ボックスに入れることができます。梱包は Marken が行います。



- 7) 断熱保冷運搬容器の発泡スチロールの蓋を閉めます。記入済みの検査依頼書のコピーを発泡スチロールの蓋の上に置き、必要に応じて蓋のフラップをテープで留めます。航空貨物運送状は集荷当日に Marken が持参します。
- 8) 航空貨物運送状に署名し、日付を記入のうえ Marken に渡します。



- 9) 内蓋を閉じて梱包を完了し、航空貨物運送状に署名します。その後、航空貨物運送状のコピーを Marken が施設担当者へ渡し、署名された航空貨物運送状を発送用ボックスに貼付します。



- 10) 署名済み航空貨物運送状のコピーを施設で保管します。



## FedEx (TNT) 常温

運送状番号 (AWB)

署名と日付

22



## FedEx (TNT) 凍結検体

送信者参照番号が、治験文書の表紙に記載されているプロトコル名と完全に一致していることを確認してください。  
一致していない場合は、正しいプロトコル名に修正してください。

**運送状番号 (AWB)**

[illegible]

署名と日付

集荷日時を確認するため、FedEx(TNT)のEOF(電子メール集荷依頼票)をメールで送信してください。FedEx(TNT)の情報や注意事項は、EOFまたはスターターパックに記載されています。



## FedEx (TNT) 常温/凍結検体のコマーシャルインボイス (国内発送には適用されません)

FedEx (TNT) より提供された事前印字済みのコマーシャルインボイスのみを使用してください。

COMMERCIAL INVOICE				
DATE OF EXPORTATION		EXPORT REFERENCES (i.e. order no., invoice no., etc.)		
SHIPPER/EXPORTER (complete name and address)		CONSIGNEE (complete name and address) Q SQUARED SOLUTIONS PTE. LTD. 438B Alexandra Road #07-01/04 Alexandra Technopark SINGAPORE 119968 Attn: Pre-Analytical Team Tel no. 6602 1103		
COUNTRY OF EXPORT		IMPORTER - IF OTHER THAN CONSIGNEE (complete name and address)		
COUNTRY OF MANUFACTURER				
COUNTRY OF ULTIMATE DESTINATION SINGAPORE				
INTERNATIONAL AIRWAY BILL NO.		(NOTE: All shipments must be accompanied by an International Air Waybill)		
NO. OF PKGS.	FULL DESCRIPTION OF GOODS	QTY.	WEIGHT	TOTAL VALUE
2	Biological Substance Category B UN3373			
	Blood	_____ mL	_____ kg	US\$10
	Serum	_____ mL		
	Plasma	_____ mL		
	Urine	_____ mL		
	Other body fluids	_____ mL		
	Biopsies	_____ mL		
Packed in accordance with IATA Packing Instruction 650 Human material containing no animal material and not of tissue culture origin Transported for diagnostic testing as part of a clinical trial				
TOTAL NO. OF PKGS.			TOTAL WEIGHT	TOTAL INVOICE VALUE
			_____ kg	US\$10
<b>OF NO COMMERCIAL VALUE; VALUES STATED FOR CUSTOMS PURPOSE ONLY</b>				
I DECLARE ALL THE INFORMATION CONTAINED IN THIS INVOICE TO BE TRUE AND CORRECT				
SIGNATURE OF SHIPPER/EXPORTER (Type name and title and sign)		DATE:		
_____		_____		

1. 運送状番号を記入してください。
2. 同時に発送する荷物の数を記入してください。
3. 発送する検体の重量 (mL) を記入してください。特定の検体について、採取しなかった場合は「NA」と記入してください。例えば、尿検体のみ発送する場合、血液、血清、その他体液、生検は「NA」と記入してください。
4. 荷物の総量をキロ単位で記入してください。
5. 署名してください。
6. 日付を記入してください。

## Marken 常温 / 凍結検体

(詳細は Marken スターターパックに記載されています)

MARKEN		AIRWAYBILL		616X04756457	
Shipper		Consignee		Waybill Number	
		Q Squared Solutions Pte Ltd 79 Science Park Drive #04-08 Cintech IV Singapore Science Park One Singapore 118264		616X04756457	
Contact		Contact		Schd Collection	
		Kae Siang Ngo			
Reference		Reference		Schd Delivery	
Telephone		Telephone		Client Account	
		+65 68021108		SG019	
Content Description	Pcs	Range (°C)	Kgs	Packaging	Supplier
BIOLOGICAL SUB CAT B (AMB/FRZ)					
TOTALS		Pieces	Actual Kgs	Volu Kgs	Value (USD)
					10.00
Special Instructions		Collected in good order & condition		Received in good order & condition	
		Signature		Signature	
Shippers signature		Printed name		Printed name	
Printed Name		Date		Time	
Date	Photo ID Type	NOTE: The goods described above are accepted in apparent good order and condition (except where noted by shipper or noted above) for delivery to the stated consignee, subject to Marken's Standard Terms and Conditions, available for review at <a href="http://www.marken.com/terms-and-conditions.aspx">http://www.marken.com/terms-and-conditions.aspx</a> , which limit Marken's liability			


運送状番号 (AWB)

署名と日付

凍結発送のみ:  
ドライアイスの量をキロ単位で記入してください。

Marken の連絡先は、スターターパック  
に記載の情報をご確認ください

## Marken 常温 / 凍結検体のプロフォーマインボイス (国内発送には適用されません)



**MARKEN**  
a UPS Company

### PROFORMA INVOICE

---

**SENDER**

**CONTACT :**  
**PHONE :**

---

**CONSIGNEE**

---

REFERENCE	PROTOCOL :	STUDY : SP	SITE :
-----------	------------	------------	--------

---

**COMPLETE DESCRIPTION OF GOODS**

Non Infectious / Non Hazardous - Biological Substance Category B UN3373  
 Human Blood / Serum / Urine / Tissue / \_\_\_\_\_ (specify if others) Samples

Blood : \_\_\_\_ ml each \_\_\_\_ tube/slide(s)      Tissue : \_\_\_\_ ml each \_\_\_\_ tube/slide(s)

Urine : \_\_\_\_ ml each \_\_\_\_ tube/slide(s)      Serum : \_\_\_\_ ml each \_\_\_\_ tube/slide(s)

Total number of tube/slides(s) : \_\_\_\_      Others : \_\_\_\_ ml each \_\_\_\_ tube/slide(s)

This shipment contains human diagnostic specimens, and is packed in compliance with IATA specifications. The samples are of human material containing no animal material and not of tissue culture origin. Human material that was neither inoculated with, nor exposed to infectious agents of agriculture concerns, including zoonotic agents. These items are to be used for medical research purposes and laboratory testing only.

Number of packages : \_\_\_\_ Piece(s)

Total Gross Weight : \_\_\_\_ Kg

Country of Origin :

Delivery Terms : DDP

**Marken Airwaybill Number**

616X

This shipment has No Commercial Value. Not for sale / resale.  
For Customs Purposes only, a value of USD \$10 can be attributed.

**3**

Date	Signature
<div style="border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="font-size: 0.8em;">(dd/mm/yy)</div>	

**4**

MARKEN Internal Ref : 616-SG019-COVID19

1. 発送する検体の重量 (mL) を記入してください。特定の検体について、採取しなかった場合は「NA」と記入してください。例えば、尿検体のみ発送する場合、血液および血清は「NA」と記入してください。
2. 運送状番号を記入してください。
3. 日付を記入してください。
4. 署名してください。

---

## 改訂ログ

日付 / バージョン	ページ	改訂内容	備考
バージョン 01 2026 年 1 月	該当なし	初版のため該当なし	